- 1 小学校低学年の指導例(1)
- ◆ 主題名 伝える心 指導内容 B [礼儀]資料名 あいさつ+1 (プラスワン) (王寺町郷土資料① 王寺町教育委員会)
- ◆ ねらい

見守りのおじさんの笑顔を見たときや、あいさつの際の笑顔を担任の先生に認められたときの主人公の心情を考えることを通して、時や場に応じたあいさつなどにより自分も相手も気持ちよくなることを理解し、気持ちのよいあいさつを心がけ、明るく接しようとする実践意欲や態度を育てる。

◆ 展開のあらまし

〇主な発問 ・予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
O ヨシトが、カナのようにあいさつをしたいと思ったのはどうしてでしょう。 ・自分もおじさんを笑顔にしたいと思ったから。 ・カナのように元気なあいさつをしたいから。 ・いつもあいさつやプラスワンがうまく言えないから。	◆ 主人公がそう思ったのは、お じさんの笑顔を見ながらである ことを押さえ、相手が気持ちよ くなるようなあいさつをしたい と願う主人公の心情にせまるこ とができるようにする。	
 ミカ先生の言葉を聞いてとてもうれしくなったヨシトは、どんなことを思っていたでしょう。 ・ぼくのあいさつも先生をうれしい気持ちにできたんだ。よかったな。 ・うまくあいさつができなかったのに先生が喜んでくれたなんて。 ・言葉以外のプラスワンがあったなんて知らなかったな。 ・ぼくにもいいところがあったんだな。うれしいなあ。 	◆ 先生にとっては主人公のどん なところがプラスワンだったの かを押さえたり、プラスワンが どうして大切だと思うかを問い 返したりするなどし、自分も相 手も気持ちよくなるようなあい さつなどが大切であることに気 付くことができるようにする。	
 あなたなら、あいさつや人に声をかけるとき、 どんなひとことを付け加えようと思いますか。 ・見守りの人に、いつもありがとうございますって付け加えたい。 ・友達と別れるときには、また明日も遊ぼうって付け足そう。 ・困っている友達がいたら、どうしたのって声をかけたい。 	具体的に考え、話し合うように するなど、実践につながるよう にしたい。あいさつなどで気持 ちよかった体験を話し合うこと もできる。	

※ 展開のあらましに加え、導入として教材への興味喚起や追究する課題把握ができる活動 等を、終末としてさらに見方や考え方を広げ深めるような説話や学習の振り返り等を行う など、教材やねらい、児童の発達段階等に応じて指導を工夫したい。